

あさくらっこおめでとう



野崎 百瀬ちゃん
令和4年5月13日生(堤)



丸林 春登ちゃん
令和4年5月20日生(一木)



三好 遥己ちゃん
令和4年5月3日生(馬田)



戸村 旭ちゃん
令和4年5月10日生(来春)



石松 芽依ちゃん
令和4年5月12日生(堤)



高山 璃大ちゃん
令和4年5月24日生(一木)



田中 湊ちゃん
令和3年5月25日生(堤)



木下 朔人ちゃん
令和3年5月19日生(八重津)



福地 京昌ちゃん
令和2年5月4日生(甘木)



申込期間 6月生まれ(6月号)の申込は
5月8日(月)まで

申込条件 満1〜3歳の子どもの対象。定員18人
(先着順)。申込多数の場合、満1歳
の子どもを優先して掲載します。

申込方法



①メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)
写真データを添付し、子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・住所・連絡先
(保護者氏名)を明記。送信後、市人事秘書課(☎22-1117/平日8時
30分〜17時15分)へ電話してください。
②来庁 写真データを、市人事秘書課(本庁3階)または朝倉・杷木支所
市民窓口係(1階)へ(USBメモリ不可)。

**病児保育事業の
広域化・無償化**

病児保育とは、保護者が就労し子どもが病気の際に自宅での保育が困難な
場合に、病院や保育所で子どもの一時的保育を行う事業です。

令和5年4月から、病児保育事業の広域利用が可能となり、あわせて県内在
住の利用者は、利用料が原則無料(1日当たり2000円が上限)となりました。

☎市子ども未来課(☎28-7568)



**前向き
子育て
定期便**

皆さんの子育てが少しでも楽しくなるように子育てカアッパを支援する「前向き子育て応援」。
誰だって子育て中は迷い悩みます。「なぜ? 片づけられない?」「なぜ? 食べない?」「なぜ? 下の
子に意地悪する?」
そんな日常の「なぜ? なぜ?」に、前向き子育てで「なるほど、そういうこと」と小
さなスッキリ。前向き子育てプログラムの具体的な内容を定期的にお届けしていきます。
☎市子ども未来課(☎28-7568)



▲前向き子
育て定期便
は市HPで
も詳しく掲載

褒めて育てるにはどこを褒める?

「子どもを褒めて育てると良い」と分かっているけど、「どこを?」「どう?」褒めるかを迷うことはありませんか? 褒めると
ころは、子どもに「身に付けてほしい」「増やしてほしい」行動です。褒めるところは、できた時(ゴール)と、できるように頑張っ
ている行動です。また、できるようになる前の行動を具体的に褒めることで、子どもの行動が次につながるでしょう。

親が子どもの行動に対して前向きな励ましを伝えることで、子どもは良い行動だと理解でき、
好ましい行動が増えます。子どもはそのような状況になると、親の注意を素直に受け入れやすくな
ります。慣れるまでは子どもの褒める行動を事前に決めて、セリフを考えておくと、気づいた
時にすぐ褒めやすくなります。



あさくらさずなメール
妊娠・子育てのメッセージが
LINEで届く▶▶▶



子育ての
不安解消に

5月の催し

母子健康手帳交付

《市健康課》平日8時30分〜17時
■持ってくるもの
妊娠届出書、マイナンバーと本人確認ができるものなど



◀「親子健康
カレンダー」
に年間予定
も掲載

子育て応援プログラム

※各教室とも、場所はピーポート甘木保健福祉センターです。
参加時には、母子健康手帳が必要です。

マタニティクラス(母親学級)

赤ちゃんの成長に必要な栄養について。調理実習・試食あり。
■日時…16日(火)9時30分〜12時
※12日(金)までに要予約
■持ってくるもの…筆記具、エプロン

もぐもぐ教室

離乳食を始める生後4〜6カ月の乳児と
保護者の皆さんへ。
■日時…25日(木)10時〜12時
※第2子以降の人は18日(木)までに要予約
■持ってくるもの…筆記具、エプロン



すくすく(育児)相談

子どもの成長、母乳、離乳食、遊び、歯みがき、トイレなど、気軽
にご相談ください。身長・体重の計測も行っています。
■日時…17日(水)10時〜11時30分
■持ってくるもの…バスタオル1枚
※母乳相談の受付は11時まで。別途フェイスタオル3枚持参。

乳幼児健診(対象者に個別で通知します)

【甘木・朝倉地域の人】

対象	日
4カ月児(令和4年12月生)	9日(火)
10カ月児(令和4年6月生)	10日(水)
1歳6カ月児(令和3年10月生)	11日(木)
3歳児(令和2年4月生)	12日(金)

■時間…12時45分〜
■場所…ピーポート甘木保健福祉センター
■持ってくるもの…母子健康手帳
■健診内容
《4カ月児・10カ月児・1歳6カ月児・3歳児》身長体重測定、小
児科医による診察、育児・栄養相談
《10カ月児・1歳6カ月児・3歳児》歯みがき相談
《1歳6カ月児・3歳児》歯科健診
《4カ月児・1歳6カ月児》ブックスタート
☎市健康課(☎22-8571)

おはなし会

各図書館で、絵本の読み聞かせのほ
か、わらべうたと一緒に歌ったり、みん
なで手遊びをしたりします。



【中央図書館】

おはなし会(幼児〜小学生向け)
■日時…毎週土・日曜日14時〜
ぴよぴよおはなし会(0〜2歳児向け)
■日時…10日・17日(水)11時30分〜

【あさくら図書館】

あかちゃんおはなし会(0〜1歳児向け)
■日時…6日(土)11時〜
みんなのおはなし会(幼児〜小学生向け)
■日時…13日・20日・27日(土)11時〜

【はき図書館】

わくわくおはなし会(乳幼児向け)
■日時…23日(火)11時〜

つどおう 子育て広場

親子が気軽に集い交流したり、育児相談を行ったりしていま
す。詳しい内容や行事などはそれぞれの広場まで。

📍子育てほっとサロン「つどいの広場」
(堤1413)(☎080-6439-1851)

📍生い立つ地域子育て支援センター
(菩提寺606-1)(☎24-5203)

📍ひろにわ地域子育て支援センター
(入地2607-1)(☎080-8352-4178)



▲つどいの広場



▲ひろにわ

Pick Up

さくらんぼリズムと

子どもの発達のお話し(2回目)

今、さまざまな園で取り入れられている「さくらんぼリズム」を
一緒に体験しませんか? 後半は子どもの発達についてのお話
も。動きやすい服装でご参加ください。

■日時…19日(金)10時15分〜11時45分

■場所…三奈木コミュニティ
センター

■講師…大坪香織さん(幼稚園教諭)、鎌田怜那さん(心理士)



シリーズ 人権 夜の中学校 (教育を受ける権利)

夜間中学を知っていますか？夜間中学とは、昼間ではなく夜、授業を行う中学校のことです。さまざまな理由で小学校や中学校を卒業できなかった人、卒業していても、不登校などを理由に学習の機会を十分に得ることができなかつた人が学び直すための学校で、さまざまな年齢・国籍の生徒が通っています。

授業は、通常の中学校と同じような内容ですが、必要に応じて日本語(ひらがなの読み書き)の勉強も行います。また、学校によっては、運動会・文化祭などの行事があり、給食を提供している学校もあります。

夜間中学には、市町村や都道府県が設置する公立夜間中学と、公立夜間中学未設置地域を中心に、市民によって設置された自主夜間中学があります。福岡県には、唯一の公立夜間中学である福岡きぼう中学校と、3つの自主夜間中学①城南中学校、②穴生中学校、③千代中学校があります。

公立夜間中学は、授業料が無償で週5日の授業があり、全課程の修了で中学卒業資格の習得ができます。それに對し、自主夜間中学は、週1日程度の授業となっているため、中学の卒業資格習得はできません。しかし、週5日通うことが難しい人でも無理せず登校できるという利点があります。

教育を受ける権利は、生きるために必要な土台的人権です。夜間中学は、その教育を受ける権利を取り戻すことのできる貴重な場所です。

夜間中学での学びを通して、字が読めるようになり、自分に自信を持つことができるようになります。また、中学卒業資格を取得することで高校進学や就職など、明るい将来に近づくこともできます。

現在、夜間中学のニーズはどんどん高まっており、全国にも夜間中学が少しずつ増えています。しかし、残念ながら夜間中学の存在を知らない人が多いという現状もあります。この文章を読んで夜間中学について初めて知った人もいるでしょう。将来、学びを取り戻す場として皆さんに広く認知され、多くの人が通い、学びを取り戻されることを願います。

問 市人権・同和対策課 ☎281-7861



今月の1枚 #あさくらいふ

悠々と青空を泳ぐ 撮影日:令和5年4月13日

道の駅原鶴・ファームステーションバサ口前で泳ぐ約130匹のこのいのぼり。5月17日まで泳いでいますので、ぜひお越しください。



あなたの写真を掲載してみませんか？

自然や文化など「朝倉の魅力を再発見できる写真」を毎月掲載していきます。皆さんからの情報提供や写真の申込をお待ちしています。

掲載の候補となるのは次の写真です。

- ① Instagramで「#あさくらいふ」と付けて投稿された写真
 - ② メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)で申込があった写真など
- ※メール申込の場合、氏名、連絡先、撮影場所・日時、写真に関するコメントを添えて申込ください。
※掲載する場合、ご連絡します。



広報文芸

俳句 (矢野俊一選)

登校の子ら賑やかに花の門 オカリナに足止めくれし花見客

囀や頂き目指す道案内 凜としたその白が好き辛夷咲く

奥宮へ誘う小径木の芽風 再開のイベントに沸く春となり

川柳 (お題「楽」) (益永克之選)

楽も苦もここに嫁いで半世紀 音楽の才はないけど歌が好き

苦しみの道のり先は楽も見え 苦があれば楽もあるのが人の常

【広報文芸応募方法】はがきまたは封書に三句以内(一人一通限り)と住所・氏名・電話番号(連絡の取れる番号)を記載し、5月8日(月)までに直接選者に応募。応募作品は、未発表・自身の作品に限る。応募の際は、今一度ご確認ください。

応募は、俳句・川柳のいずれかひとつでお願いします。
【応募先】《俳句》矢野俊一さん(〒838-0068 朝倉市甘木1-929-1-2)
《川柳》益永克之さん(〒838-0061 朝倉市菩提寺523-2)

朝倉の魅力 見つかる、つながる

地域おこし協力隊通信 vol.22

移住定住のお手伝いで自分にもプラス

コロナの制限も緩和され、お試し居住の利用、空き家の問い合わせ件数が増えたように感じています。空き家バンクや空き家の活用をさらに多くのの人に知ってもらうため、2月11日にワークショップを開催しました。

ワークショップには、市内外から定員数を上回る予約があり、空き家に対する関心の高さを感じました。最初に一級建築士による講演を行い、家の構造や材質、空き家購入時のポイントなど基本的な知識を学習しました。次に、実際の空き家を見学。個人がDIYする際の注意点やプロに任せたい箇所、費用などを現場で確認しながら聞くことができる貴重な機会になりました。

今後も空き家に関するワークショップを開催予定です。「空き家のココが知りたいたい」など要望がありましたら、ご連絡ください。

また、空き家バンク相談会も実施します。事前の予約が必要ですが、無料で相談できますので、空き家で悩んでいる人はぜひご参加ください。

【空き家バンク相談会】
司法書士 宅地建物取引士が相談を受けられます。

■期日・場所：①5月20日(土)・P1ポート甘木第1学習室
②6月4日(日) めくばーる学習館0A研修室

【①②共通】■時間：10時~12時 13時~16時(要事前予約、1組30分程度)

問 申 市シテイブプロモーション課 ☎281-7603

地域おこし協力隊員 栗林 直人 さん

地域おこし協力隊の普段の活動は、市HPから見られます。
朝倉への移住・定住を検討している人には、お試し居住がおすすめ。詳しくは市HPへ。



▲(上)秋月コミュニティセンターで一級建築士田尻さんの講演。(下)現在空き家となっている物件で講義。



ライトアップあ! さくら〜水灯桜〜
水と桜のハーモニー



3月24日～26日にかけて、あまぎ水の文化村で「ライトアップあ! さくら〜水灯桜〜」が開催されました。

会場ではアクアカルチャーゾーンの「北の大桜」と「南の大しだれ桜」を中心にたくさんの桜がライトアップ。「水」と「桜」が織り成す幻想的な景色が広がっていました。イベントに訪れた人は、3日間限定のこの景色に思い思いに写真を撮っていました。

※Instagramで「#あまぎ水の文化村」で検索すると、水灯桜のきれいな写真がたくさん投稿されています。

カビで占う今年の作柄
「米は平年並み、麦の豊作に期待」



3月10日、恵蘇八幡宮で約200年以上続く伝統行事「粥だめし」が行われました。これは、毎年2月15日に3つの青銅器に1升3合の粥を盛り、3月最初の「卯の日」にカビの色などを確認してその年の農作物の出来を占う神事です。赤カビは日照り、黒カビは虫、黄カビは豊作、青カビは水、綿用カビは風、この綿用カビが黒ずんでいると台風などを表します。

今年は、粥の表面は綿用カビの黒ずみが目立ち、赤・黄・青カビなどはまばら。上原宮司は「今年は大雨の心配は少ないが、例年より台風に注意が必要。全体的な作柄は、米は平年並みだが、麦は豊作が期待できる」と占いました。



▲ゴールで子どもに出迎えられた女性は「レースを終え、選手から母親に戻りました。今後もさまざまなサイクルレースに挑戦したい」と話しました。

1日限りの特設コースで
疾走! 白熱! 自転車レース

3月19日、麒麟ビール福岡工場で「あさくらサイクルフェスティバル Vol.6」が開催されました。

メイン会場の麒麟花園では「麒麟ショートクロスカントリー&キッズレース」が行われました。ショートクロスカントリーには約90人が参加。コースは1周約3kmで、カーブやコブなどの難所がレースを盛り上げました。キッズレースには約120人の子どもたちが参加。慣れない未舗装のコースを一生懸命走り、思い思いにレースを楽しみました。

また、朝倉市郡を中心に豊かな自然や3つのダムを巡る「ツール・ド・あさくら」も同時開催。市内外から集まった約500人のサイクリストが、初級者～上級者の3コースを駆け抜け、あさくら全体が自転車に染まった1日となりました。



▲花園内ではプレーパークも開催。多くの子どもでにぎわいました。

あさくらのよかもんがいっぱい
甘木駅前マルシェ開催

3月11日、甘木駅前駐車場で甘木駅前マルシェが開催されました。朝倉のおいしい果物を使ったスイーツや秋月和紙、朝倉光陽高校や朝倉東高校も出店。移住相談のブースも設置されるなど、朝倉のよかもんが集まったマルシェは、多くの人でにぎわいました。



企業版ふるさと納税
寄附金の贈呈式を行いました

4月6日、一般財団法人医療情報健康財団（本社：福岡市）から朝倉市に200万円の寄附を受けました。

同財団は健康診断などの予防医学事業を行っています。贈呈式で石川潔理事長は「朝倉市へのひとの流れをつくる事業に活用してほしい」と話しました。



国交省復興出張所が閉所
赤谷川復旧工事完了に感謝

平成29年九州北部豪雨で大きな被害をもたらした赤谷川流域の河川復旧工事がほぼ完了し、3月30日、現地の視察が行われました。視察後、林市長は「治水の安全度が大きく向上したことを確認した。今後も松末地域の発展に取り組んでいきたい」と話しました。

工事完了に伴い、国土交通省の九州北部豪雨復興出張所の閉所式も行われました。出張所は市役所杷木支所の3階に平成30年4月から設置。赤谷川を中心に工事区間は約14kmにおよび、20の橋の架け替えが行われ、砂防ダム30基が整備されました。

また、閉所式後には感謝の会も開催。松末地域コミュニティ協議会の伊藤前会長は「国交省が復興に携わると聞いた時の喜びは忘れられない。今後も自分の命は自分で守ることを基本に防災に努めたい」と謝辞を述べました。



▲杷木支所では出張所の銘板が下ろされました。写真は林市長、国土交通省藤巻局長（左から2人目）など。



▲感謝の会では松末地域コミュニティ協議会から「国土交通省のみなさんありがとう」とプリントされたタオルが送られました。

あさくらびと

地域で話題になっている人や団体、企業などを紹介するシリーズ。

第18弾は、学校に行きづらい子どもを支援する「NPO 法人 フリースペース よつば」の皆さん取材しました。

Interview

フリースペース よつば
代表

石川 千恵^{ちえ}さん

事務局

平田 悌子^{ていこ}さん

現在のよつばのスタッフは8人。元教職員や元地域おこし協力隊員などの子どもが大好きなスタッフが、一対一で子どもと接しています。
(写真は中心で活動しているスタッフ。石川さんは前列右端、平田さんは前列中央)

だいじょうぶ ひとりじゃないよ

子どもに家族に寄り添い自立を助ける場所

「フリースペース よつば」は、学校に行きづらくなった子どもの居場所をつくるために平成27年4月に設立しました。子どもたちの学校に行きづらい理由はさまざままで、一人ひとり特性も違います。私たちがその特性を理解するまで時間はかかりますが、子どもや家族に寄り添い、まず受け入れられることを心掛けています。

よつばでは学習支援のほか体験学習などを通じて、子どもたちの自立支援に取り組むフリースクールを運営しています。子どもには最初に「よつばで何をするか」を選択させることから始めるようにしています。よつばに通うにつれ、最初は暗かった子どもが徐々に明るくなり、できることも増えていく。その変化や成長を目の当たりにするときに、喜びややりがいを感じます。

子ども自ら未来を切り拓く

よつばでは勉強と並行して、イラストやパソコン、スポーツなど体験学習を行い、子どもの可能性を引き出せるようにしています。子どもは自分では気付かなかった才能を発見することで、自信を

つけることができます。

ある子の話です。学校に行けなくなった理由をスタッフに受け止められたと感じたとき「卓球もやりたい」と打ち明けてくれ、しばらく卓球をしました。卓球を通して仲間もでき、少しずつ勉強にも取り組むようになりました。また、自分で「よつばで長い時間過ごせるようにする」と目標も立て、実行するようになりました。

子どもの学力向上も大切ですが、しかし、よつばで最も大切にしていくのは、子どもの自信や自己肯定感を養うことです。子ども自らの意思で中学卒業後の進路を決め、自分の力で生きていけるようにする。それが私たちの役割だと考えています。

子どもを地域全体で支えたい

悩みを抱える子どもを受け入れる場所は、まだまだ少ないです。そんな場所が増え、子どもを正しく理解し、地域全体で育てる気運を高めていければ、子どもたちの気持ちも楽になっていきます。

みんな同じでなくていい。子どもは認めてもらえれば、一人ひとりがすごい力を持っています。よつばはこれからも、そんな子どもたちに寄り添い、自立を助ける場所であり続けたいです。

NPO 法人 フリースペース よつば

問 (杷木久喜宮 1508-2 ☎ 090-4581-4239 ✉ tekohira@yahoo.co.jp)



■開設日時…月・火・木・金曜日 9時～12時(火曜のみ15時まで)
学習支援や体験活動のほか、子ども本人や保護者・家族への相談支援、子どもの周囲の人たちの理解を深める研修啓発も行っています。現在は主に教育会館(堤1600-2)で活動しています。
利用料は無料。まずは電話やメールでご相談ください。



よつば学習会を開催

問 平田(☎ 090-4581-4239)

どうして学校へいけないの？

～それぞれの想いに寄り添う～

学校に行きづらくなったことを悩んでいる子どもや保護者にどう寄り添えばいいのか？一緒に考えていきましょう。

■日時…5月26日(金)19時～

■場所…フラス甘木 2階 研修室 A・B

■講師…長阿弥幹生^{ちやうあき かんせい}さん

■後援…朝倉市・筑前町・東峰村各教育委員会